

平成29年度 第6回倫理審査委員会

開催日時：平成29年7月27日（木）14：00～15：45

開催場所：国立成育医療研究センター研究所2F セミナールーム

出席委員：斎藤委員長、奥山副委員長、石黒委員、五十子委員、小野寺委員、神里委員、  
小林委員、近藤委員、左合委員、瀧本委員、松本委員、村島委員、横野委員、  
横谷委員

審議課題数：42件（承認40件、条件付承認2件）

受付番号1243：アムロジピンによる先天異常発生に関する調査（迅速審査）

◆ 申請者：三戸 麻子

◆ 申請の概要

2012年8月2日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、研究期間についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1487：子どもの頃の家族関係が成長後にわたる子のメンタルヘルスに与える影響（迅速審査）

◆ 申請者：水本 深喜

◆ 申請の概要

家族システム論，ソーシャルキャピタル，アタッチメント，虐待防止の視点から「子どもを健やかに育てる家族尺度」を作成し，大学，専門学校，医療機関等で質問紙調査を行う。そして子どもを健やかに育てるための家族とはどのような家族なのか，幼少期の家庭での被養育体験が成長後も含めた子どものメンタルヘルスにどのような影響を与えるのかを明らかにする。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1493：小児高安動脈炎における腹部血管超音波検査所見についての検討（迅速審査）

◆ 申請者：野沢 永貴

◆ 申請の概要

高安動脈炎は大動脈に炎症を来す疾患で、原因不明の発熱を来す疾患として取り扱われることが多い。診断に必須のCTやMRI検査は被曝や麻酔に伴う合併症を考えると第一に行う検査としてはリスクが高い。一方、超音波検査は身体への害が少なく簡便な検査である。本研究により、超音波検査を行う際に頸部動脈の観察に加え腹部動脈の観察を組み合わせることで、早期かつ高精度に高安動脈炎を診断できる可能性が示唆された。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1504：尿中IgG/トランスフェリン比の臨床的有用性と起立性蛋白尿の診断のためのcut off値の検討（迅速審査）

◆ 申請者：亀井 宏一

◆ 申請の概要

過去に、尿中 IgG/トランスフェリン比が起立性蛋白尿と糸球体性蛋白尿の鑑別に有用であることが報告されているが、多数例での検討はない。当院で尿中 IgG/トランスフェリン比を提出した患者について、糸球体性蛋白尿または起立性蛋白尿の 2 群に分けて、尿中 IgG/トランスフェリン比を比較し、鑑別のための cut off 値を算出する。また、糸球体性蛋白尿患者のうち、ネフローゼ症候群と慢性糸球体腎炎の 2 群でも同マーカーの比較を行う。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1505：難治性ネフローゼ症候群に対するリツキシマブ療法に伴う infusion reaction についての検討（迅速審査）

◆ 申請者：亀井 宏一

◆ 申請の概要

リツキシマブによる infusion reaction は、B 細胞が細胞障害を来す際に放出されたサイトカインが生体反応を起こすことによるものと推察されており、悪性リンパ腫ではその発症頻度は極めて高いが、難治性ネフローゼ症候群での報告は少ない。本研究では、難治性ネフローゼ症候群患者でリツキシマブ投与後の infusion reaction について、頻度、リスクファクター、発症時間、重症度、再投与での頻度やリスクファクターなどについて、データを収集し解析する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1506：難治性ネフローゼ症候群におけるリツキシマブ療法の B 細胞枯渇中の血清 IgG 値と感染症についての検討（迅速審査）

◆ 申請者：亀井 宏一

◆ 申請の概要

リツキシマブ療法は難治性ネフローゼ症候群の再発予防に有効であるが、B 細胞枯渇に伴う低 IgG 血症や感染症の頻度の増加が危惧される。本研究の目的は、当センターでリツキシマブ単回投与を行い、後療法でミコフェノール酸モフェチルを継続した難治性ネフローゼ症候群患者において、血清 I g G 値および感染症による入院の頻度を後方視的に調査することで、リツキシマブが感染症のリスクを高めているかどうかを評価することである。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1507：移植腎のプロトコール生検の意義（迅速審査）

◆ 申請者：亀井 宏一

◆ 申請の概要

腎移植後のプロトコール生検の有用性は報告されているが、生検が治療に及ぼす影響などを詳細に検討した報告はない。本研究の目的は、当科の移植後 3 か月、1 年、3 年、5 年のプロトコール生検について、急性拒絶/ボーダーライン、尿細管萎縮/間質線維化、

カルシニューリン阻害薬による腎毒性の有無、生検時期による違い、治療方針への影響について評価し、その有用性を再確認することである。さらに、合併症についても調査する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1509：小児用経口製剤の服用性に関する調査（迅速審査）

◆ 申請者：赤羽 三貴

◆ 申請の概要

国内では小児用製剤の開発を行う際にどのような年齢の小児にどのような剤形を開発すべきかその指標がなく、製薬企業は医療現場のニーズを小児用製剤の設計に反映することが困難となっている。本研究はこのような開発時の指標となる情報作成を目指すため、実際に小児用製剤を服用している患者、服用補助している保護者、看護師を対象に飲みやすい剤形に関する調査を行う。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1510：チペジンヒベンズ酸塩（アスピリン®）によるアナフィラキシーについて（迅速審査）

◆ 申請者：小林 真也

◆ 申請の概要

本邦ではまれであるアスピリン®のアナフィラキシー症例について、カルテ内診療情報を考察し、薬剤アレルギーの勧告を行うことが目的である。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1513：高カロリー輸液中のCaとP濃度の最大化に関する検討（迅速審査）

◆ 申請者：丸山 秀彦

◆ 申請の概要

超低出生体重児におけるカルシウムやリンの補充は重要である。しかし、点滴中のそれらは、濃度を上げすぎると析出する恐れがある。そこで、カルシウムやリンの濃度が最大化するような混注量を見出すことを目的とした。基本となる点滴（リハビックス）にカルシウムやリンを加えていき、析出した時点でカルシウムやリンの濃度を算出する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1515：小児期発症のネフローゼ症候群患者におけるウイルス抗体価の推移（迅速審査）

◆ 申請者：加納 優治

◆ 申請の概要

ネフローゼ症候群では原疾患やステロイド・免疫抑制薬使用のため易感染性を示し、感染症対策が重要となる。小児期発症のネフローゼ症候群において、各種ウイルス（麻疹、風疹、水痘、ムンプス）の抗体価の推移を評価した報告はほとんどない。本研究により、

ネフローゼ症候群におけるウイルス抗体価の推移や抗体減衰や陰性化のリスク因子を評価する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1516：ムクナ豆服用後に瀬川病のジストニア症状が消失した一例（迅速審査）

◆ 申請者：徐 悦

◆ 申請の概要

瀬川病のジストニアによる歩行障害に対してムクナ豆が有効であった一例の経験を考察することは、今後の瀬川病の治療に役立つ可能性がある。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1517：手指の鏡像運動を合併した広汎性発達障害の1例について（迅速審査）

◆ 申請者：徐 悦

◆ 申請の概要

広汎性発達障害に手指の鏡像運動を合併した一症例の病態を径頭蓋電気刺激および機能的MRIを用いて愛解明する。広汎性発達障害における協調性運動障害の病態解明に役立つ可能性がある。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1518：乳児のCTでみられる動脈管索の石灰化所見（迅速審査）

◆ 申請者：松尾 基視

◆ 申請の概要

胸部単純CTにおいて、動脈管索の石灰化と考えられる線状または点状の高吸収域（本所見）が偶然発見されることがある。本所見には、病的意義はないとされているが、乳児では縦隔リンパ節の石灰化をきたす結核との鑑別で問題視されることがある。そこで、本所見が乳児でどのくらいの頻度で見られるのか、いつ頃から見られるのかについて後方視的に調査する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 237：手術検体（リンパ管腫等）由来の分離細胞を利用した分化能評価システムの確立（迅速審査）

◆ 申請者：梅澤 明弘

◆ 申請の概要

2012年6月8日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、共同研究者、研究期間についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号238：手術検体（精巣）由来の細胞分離技術および分離細胞を利用した分化能評価システムの確立（迅速審査）

◆ 申請者：梅澤 明弘

◆ 申請の概要

2012年6月8日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、研究期間、その他についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号378：先天性免疫不全症の診断ならびに病態解析に関する研究（迅速審査）

◆ 申請者：河合 利尚

◆ 申請の概要

2015年6月3日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、共同研究者についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号457：国立成育医療研究センターにおける脳死小腸移植の実施（迅速審査）

◆ 申請者：笠原 群生

◆ 申請の概要

2011年2月4日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、共同研究者、研究期間についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号518：先天奇形症候群における遺伝的要因の探索（迅速審査）

◆ 申請者：深見 真紀

◆ 申請の概要

2017年3月14日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、共同研究者についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号598：川崎病に関連する遺伝子解析に関する多施設共同研究（迅速審査）

◆ 申請者：小林 徹

◆ 申請の概要

2015年5月8日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、研究責任者、申請者、共同研究者、対象及び方法、実施場所、研究期間、その他についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号837：院外心停止例救命のための効果的救急医療体制・治療ストラテジの構築に関する研究（日本救急医学会主導研究）（迅速審査）

◆ 申請者：多賀谷 貴史

◆ 申請の概要

2014年12月4日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、研究期間についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号852：「小児固形腫瘍観察研究」における中央診断、臨床的データ集積と検体保存（迅速審査）

◆ 申請者：瀧本 哲也

◆ 申請の概要

2016年5月24日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、研究責任者、申請者、共同研究者、実施場所、その他についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1118：卵巣ステロイドが精神状態に与える効果の解明（迅速審査）

◆ 申請者：深見 真紀

◆ 申請の概要

2016年2月23日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、その他についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1274：医療データベースの包括的利用による周産期の疫学研究（迅速審査）

◆ 申請者：森崎 菜穂

◆ 申請の概要

2016年10月27日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、共同研究者、対象及び方法、実施場所についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1323：自閉症患者由来 iPS 細胞の樹立と候補遺伝子の探索（迅速審査）

◆ 申請者：立花 良之

◆ 申請の概要

2017年1月26日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、対象及び方法についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1347：乳児アトピー性皮膚炎への早期介入による食物アレルギー発症予防研究/多施設共同評価者盲検ランダム化介入並行群間比較試験（迅速審査）

◆ 申請者：大矢 幸弘

◆ 申請の概要

2017年2月28日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、その他についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1351：新生児先天性横隔膜ヘルニア手術における手術部位感染防止に関する研究（迅速審査）

◆ 申請者：山林 美有紀

◆ 申請の概要

2017年4月19日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、対象及び方法についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1360：妊娠糖尿病女性を対象とした糖尿病・メタボリックシンドローム発症予防のためのランダム化比較試験（迅速審査）

◆ 申請者：荒田 尚子

◆ 申請の概要

2017年5月25日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、研究課題名、実施場所、その他についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1477：健常乳児における唾液コルチゾール LC-MS/MS 測定値の分布に関する研究（迅速審査）

◆ 申請者：齋藤 麻耶子

◆ 申請の概要

2017年6月15日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、対象及び方法についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1498：抗体製剤の母乳移行性に関する研究（迅速審査）

◆ 申請者：申請者：齋藤 順平

◆ 申請の概要

抗リウマチ薬を中心とする抗体製剤の母乳中分泌に関するデータの収集および乾燥ろ紙を用いた測定法の確立をめざす。当院に通院する授乳婦のうち、疾患治療を目的に抗体製剤を利用している患者を対象とする。薬剤投与後に搾乳した母乳を外来受診時に提供していただき、薬剤濃度を測定する。濃度測定は液体クロマトグラフィー質量分析計または免疫学的測定法（ELISA）により行い、薬剤移行性を評価する。あわせて乾燥ろ紙を

用いた測定方法の確立を試みる。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1500：メチルマロン酸血症・ホモシスチン尿症関連疾患群の患者頻度に関する研究（迅速審査）

◆ 申請者：但馬 剛

◆ 申請の概要

国立成育医療研究センター研究所マススクリーニング研究室では、「メチルマロン酸血症・ホモシスチン尿症関連疾患群」の患者頻度を調査します。これらは現在、マススクリーニングの対象ではありませんが、薬による早期治療の有効性が示されており、将来の追加が期待されます。研究に使用するの検査を終えたマススクリーニング検体で、誰のものか特定できない形で分析します。また、新たに生まれてくる赤ちゃんは対象としません。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1501：「慢性肉芽腫症に関連する腸炎の病態解析における研究」（迅速審査）

◆ 申請者：田村 英一郎

◆ 申請の概要

慢性肉芽腫症の約半数に慢性の炎症性腸疾患（以下、CGD 腸炎）を合併するが、CGD 腸炎の病勢を客観的に評価する方法はないため、診断に苦慮することや適切に治療選択が行われないことが生じる。そこで、他の炎症性腸疾患で報告される便中蛋白に注目し、CGD 腸炎の診断や重症度との関連を検討する。便検査は、小児患者に負担をかけずに行える検査であり、早期診断を目的とするスクリーニング検査として利用できる可能性がある。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1508：医療的ケアが必要となる重症障害児・慢性疾患児のレスパイトケアの社会的価値に関する包括的評価研究（迅速審査）

◆ 申請者：蓋 若瑛

◆ 申請の概要

当センター内で開設された「もみじの家」は、国内の公的病院において初めての小児ホスピス施設である。少子高齢化が進むにつれて保健医療の財源が厳しくなり、保健医療の採算性と持続可能性が議論される中、医療技術の進歩と小児重症急性期疾患の生存率の顕著な改善により、新たに出てきた長期的に医療的ケアが必要な子どものケアと支援の問題をどのように位置付けて評価すべきか、いまだに解明されていない。このアウトカム評価のボトルネックは、既存の保健医療アウトカムの評価手法が重症障害児・慢性疾患児の医療的ケアと支援のアウトカムを評価し切れないことにあり、国際的にも先行研究による知見に限られる中で、事例蓄積と新たな評価手法を模索する必要がある。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1512 : 原発性免疫不全症スクリーニングにおける測定システム開発のための研究 (迅速審査)

◆ 申請者 : 内山 徹

◆ 申請の概要

原発性免疫不全症 (PID) は、出生直後に診断を行うことによって感染症のない状態で治療を行うことができ、患者の生命予後が大きく改善する。T 細胞及び B 細胞が新生される際に、血液中に作り出される環状 DNA である TREC および KREC を測定することで、複合免疫不全 (T 細胞不全) や抗体産生不全 (B 細胞不全) の新生児スクリーニングが可能であるが、その方法は煩雑であり、精度管理が困難である。本研究では、国内における PID スクリーニングの普及を目的として、より簡便かつ精度の高い測定キットの開発を目標とする。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定 : 承認

受付番号 1519 : 難聴が疑われて精密検査機関を受診した 0 歳-6 歳児についての社会的調査 (迅速審査)

◆ 申請者 : 守本 倫子

◆ 申請の概要

小児難聴を発見する機会は、乳幼児健診や就学時健診などがあげられるが、健診で発見されず、遅くなって難聴が見つかった例も少なくない。日本耳鼻咽喉科学会では 2 年に 1 度、乳幼児期に難聴が疑われ、実際に難聴が発見された児について調査を行っており、継続的に傾向を分析して早期発見し早期介入するための効率的な乳幼児検診のあり方や新生児聴覚スクリーニングの普及などについて学会として提言していくための調査研究である。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定 : 承認

受付番号 1497 : 新生児マススクリーニングで発見される先天代謝異常症および鑑別を要する関連疾患群の生化学的・酵素学的診断と重症度・発症リスク評価に関する研究 (迅速審査)

◆ 申請者 : 但馬 剛

◆ 申請の概要

国立成育医療研究センター研究所マススクリーニング研究室では、広島大学小児科・福井大学小児科と協力して、新生児マススクリーニング対象の先天代謝異常症が疑われる新生児や、すでに症状のある患者さんの診断確定と重症度・発症リスクの評価に取り組んでいます。具体的な検査内容は、血液や尿中の異常代謝産物の精密分析と、白血球を用いる酵素機能測定です。数 mL の血液・尿の採取で、適切な医療のための情報を提供します。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定 : 承認

受付番号 1496 : EXIT (EX- Utero Intrapartum Treatment: 娩出時臍帯非切断下気道確保) 施行症例を対象とした治療成績及び胎児 MRI の出生前評価 (多施設・後方視的検討)

<p>(迅速審査)</p> <p>◆ 申請者：小澤 克典</p> <p>◆ 申請の概要 本邦 EXIT 実施状況の把握、有効性、安全性、適切な手技の標準化に資する知見集積が本研究の目的である。関東地方 1 都 9 県にある周産期センターで施行した過去 10 年間の EXIT 症例を対象とする。EXIT 症例経験がある病院に研究代表者が直接伺い診療録に基づいて詳細を聴取する。得られたデータから EXIT 実施状況の把握、有効性、安全性、適切な手技の標準化に資する知見を集積・分析する。なお、胎児 MRI 画像から 3 次元画像解析システムで測定された胎児肺体積も情報収集の対象とし、胎児 MRI 画像を実施場所にて解析する。</p> <p>◆ 審議結果 上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。</p> <p>◆ 判定：承認</p>
<p>受付番号 1 4 9 9：冠動脈瘤をともなう川崎病患者のレジストリ研究（迅速審査）</p> <p>◆ 申請者：小林 徹</p> <p>◆ 申請の概要 冠動脈瘤を伴う川崎病児における冠動脈イベント（血栓形成、狭窄、閉塞）の経時的な発生率を明らかにすることを目的とし、川崎病の初発例、または再発例では CAA の既往がなく、実測値で内径 4.0mm 以上または Z スコア 5.0 以上の CAA を合併した例を登録し、冠動脈イベントの発生率、主要心イベントの発生率、退縮の発生率、冠動脈イベント、主要心イベント、退縮の発生と内服薬の関連を、多施設共同で前向きに評価する。</p> <p>◆ 審議結果 上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。</p> <p>◆ 判定：承認</p>
<p>受付番号 1 5 1 1：胆道閉鎖症に対する腹腔鏡手術と開腹手術の多施設比較研究（迅速審査）</p> <p>◆ 申請者：田原 和典</p> <p>◆ 申請の概要 2012 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日までの期間に、胆道閉鎖症に対し肝門部空腸吻合術が施行された症例を腹腔鏡群と開腹群にわけ比較する。主要評価項目は術後 1 年の自己肝生存率とし、副次的評価項目は胆管炎発症率、Clavien-Dindo 分類 Grade3 以上の合併症発症率、肝移植率とする。統計学的手法は各エンドポイントに対して多変量ロジスティック回帰分析により検討する。また自己肝生存に関してはプロペンシティスコアによる調整を行った Kaplan-Meier 曲線によるログランク検定により検討も追加的に実施する。</p> <p>◆ 審議結果 上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。</p> <p>◆ 判定：承認</p>
<p>受付番号 1 4 7 8：東京小児がん研究グループ（TCCSG）生殖細胞系 DNA を用いた小児急性リンパ性白血病疫学研究（迅速審査）</p> <p>◆ 申請者：浦山 ケビン</p> <p>◆ 申請の概要 急性リンパ性白血病（ALL）は小児がんのうちで最も頻度の高い疾患である。本研究の目</p>

的は、小児 ALL 患者さんの遺伝子と健常人の遺伝子を比較解析することで ALL 発症の遺伝的背景を明らかにすること、遺伝子変異の情報と臨床情報を解析することで遺伝子変異が個々の患者さんの薬剤感受性などに与える影響などを明らかにすることである。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1514：特発性間質性肺炎または肺ヘモジデロシスに対するヒドロキシクロロキン治療 ～要件を満たす症例について～（一般審査）

◆ 申請者：樋口 昌孝

◆ 申請の概要

特発性間質性肺炎または肺ヘモジデロシスに対するヒドロキシクロロキンによる症状改善。

◆ 審議結果

本研究の医療・医学上の意義を認め、かつ倫理的に妥当と判断し、承認する。

◆ 判定：条件付承認（※修正確認は委員長一任）

受付番号 1524：慢性 IgA 血管炎の腹痛・紫斑に対するコルヒチン併用療法（一般審査）

◆ 申請者：益田 博司

◆ 申請の概要

慢性 IgA 血管炎の腹痛・紫斑の再発、再燃を繰り返しステロイドの漸減が困難な症例に対してコルヒチンを併用することで、治療期間の短縮、ステロイドによる副作用の軽減する。

◆ 審議結果

本研究の医療・医学上の意義を認め、かつ倫理的に妥当と判断し、承認する。

◆ 判定：条件付承認（※修正確認は委員長一任）